

# autoCult

モンテヴェルディ スペシャル (スイス, 1950)

デザイナーと小さなシリーズ

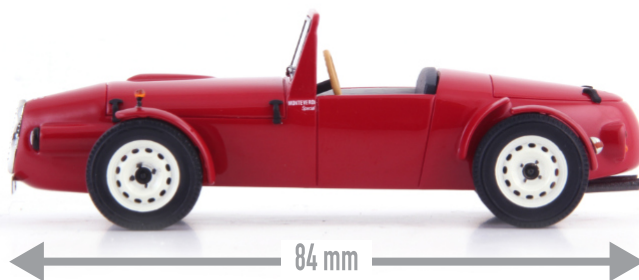
Scale 1/43

#05045

available

03/2024

Limited edition 333 Stk.



## 最初の1台

モンテヴェルディといえば、自動車愛好家ならず高価格でスポーティな乗用車を思い浮かべるだろう。こうした車を生み出した立役者は、スイス人のピーター・モンテヴェルディだった。しかし、1967年に高級車の生産を始める前に、彼はすでに自動車製造において多くの経験を積んでいたのだ。

彼の個人的な供述によれば、17歳のときにスポーツカーの開発と製作を始めたという。その時期の話はあまり知られていないため、非常に乏しい情報しかなく、明らかに本人によって誇張されているようだ。この車はヴェルディ博物館に展示されているが、案内板にはわずかな詳細が記載されているだけである。

17歳の彼は、1949年製のフィアット508Cの事故車から1100ccエンジンを再利用するため取り出した。彼は自分で設計したフレームにその40馬力の4気筒

エンジンを搭載した。エンジンだけでなく、4速ギアボックス、ドラムブレーキ、後輪車軸もフィアットの事故車から流用したもので、当初彼は片言のイタリア語で仕事をしていた。

17歳のデザインは、当時一般的だったレーシングカーのレイアウトに基づいており、非常に丸みを帯びた縦長の葉巻型の車体を特徴としていた。総重量はわずか750kgで、彼の「スペシャル」は時速145kmに達した。

AutoCult GmbH  
Äußere Further Straße 3  
90530 Wendelstein  
Germany

電話番号 +49 / 9129 / 296 4280  
ファックス +49 / 9129 / 296 4281  
info@autocult.de

www.autocult-models.de